

設計支援委員会結果報告書

平成15年12月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	岡山市水道記念館リニューアル事業	
	設計支援委員会からの意見	具体化の結果・状況
<p><b>全体計画</b></p> <p>(1)担当職員や守衛が障害者の対応をスムーズにできるようにしてほしい。</p> <p>(2)水と接する所は柵や段差などで境界が認識しやすいようにしてほしい。</p> <p>(3)段差のある部分にはテープやすべり止めなどで認識しやすいようにしてほしい。</p> <p>(4)利用者用便所から記念館までの距離が長い。植え込みを通るスロープに変更できないか。</p> <p><b>記念館整備</b></p> <p>(1)正面玄関の階段をなくせないか。</p> <p>(2)一般利用者と車椅子利用者として別々な入り口を一緒にできないか。</p> <p><b>利用者用便所</b></p> <p>(1)北西側の階段にも手摺を設置してほしい。</p> <p>(2)案内サインは凹凸のあるものを設置してほしい。 (設置高さ1200程度が望ましい)</p> <p>(3)案内サインを東面にも設置してほしい。</p> <p>(4)入り口動線をわかりやすくしてほしい。</p> <p>(5)手摺付小便器を洗面器付近に移動できないか。</p>		<p>(1)マニュアルや研修などで職員教育を実施し、意識啓発に努めます。</p> <p>(2)そのように整備します。</p> <p>(3)そのように整備します。(写真有り)</p> <p>(4)高低差があるので必要な勾配が取りにくいことと水道配管などが多数埋設されているため設置は困難です。</p> <p>(1)歴史的意義のある建物であるため階段を撤去することはできません。 段差はテープなどで視認しやすくします。(写真有り)</p> <p>(2)上記の理由により困難です。違和感がないよう内部の展示レイアウトを検討します。</p> <p><b>(写真有り)</b></p> <p>(1)設置します。</p> <p>(2)設置します。</p> <p>(3)設置します。</p> <p>(4)そで壁の撤去は構造上難しいので点字ブロックなどで動線が分かるよう整備します。</p> <p>(5)検討します。</p>



視認性を高め、注意喚起するためにテープを貼りました。



トイレ(オストメイト対応)内部の様子。